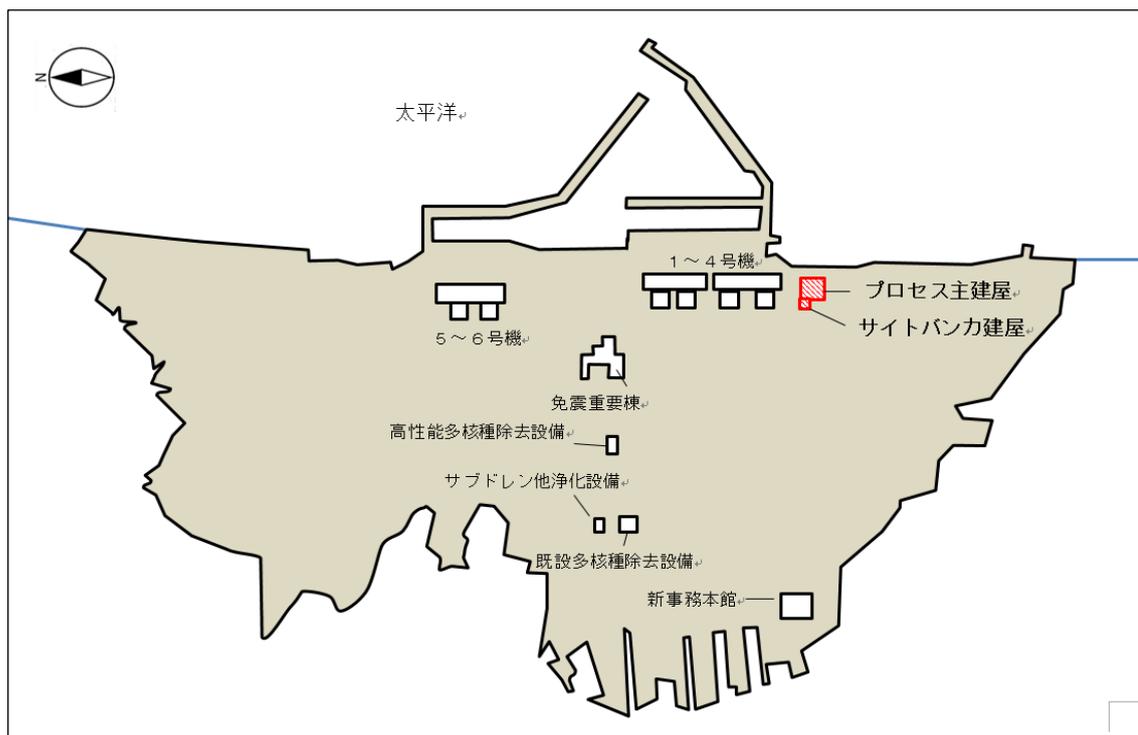


福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年9月30日（木）
- 2 確認箇所
プロセス主建屋等周辺
- 3 確認項目
 - (1) 除染装置スラッジ回収施設搬入用仮設構台等設置工事の進捗状況
 - (2) サイトバンカ建屋周囲の地盤陥没箇所の補修状況
- 4 確認結果の概要
 - (1) 除染装置スラッジ回収施設搬入用仮設構台等設置工事の進捗状況について
敷地東側のプロセス主建屋の地下貯槽には、震災で発生した汚染水を除染装置で処理した際に生じた高線量スラッジが貯留されており、津波による漏えいリスクがあることから、回収して高台に移送する計画がある。そのため建屋南側では、スラッジ回収施設を搬入するための仮設構台や壁面に開口部を設置する工事が進められていることから、状況を確認した。（図1）（写真1）
なお、前回（令和3年8月18日）の現地確認では、仮設構台設置に干渉する配管等の撤去が完了し、また、壁面では足場の組立作業が行われていた。
 - ・ 仮設構台の組み立てが開始されていた。また、現場には足場板や単管パイプなど資材が搬入されていた。（写真2）
 - ・ 前回、壁面に組み立てられていた足場は撤去されており、足場の高さ付近の建屋壁面では被覆材が剥ぎ取られていた。（写真3）
 - ・ 東京電力によれば、今後、建屋壁面への搬入口設置やスラッジ回収施設の設置などを進め令和5年度下期のスラッジ抜き出し開始を目指すとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
プロセス主建屋の外観
(南西側から撮影)



(写真2-1)
仮設構台の建て方の状況



(写真 2 - 2)
搬入された資材



(写真 3 - 1)
前回、組立作業が行われていた足場
(令和 3 年 8 月 18 日 撮影)



(写真 3 - 2)
被覆材が剥ぎ取られた壁面
(令和 3 年 9 月 30 日 撮影)

(2) サイトバンカ建屋周囲の地盤陥没箇所の補修状況について
令和 3 年 2 月 13 日の福島県沖を震源とする地震等によりサイトバンカ
建屋周辺の地盤に陥没が生じた事案について、補修状況を確認した。

(図 1) (写真 4)

なお、前回 (令和 3 年 6 月 15 日) の現場確認では、陥没部にはシート
が掛けられ、立入禁止の措置が講じられていた。(写真 5 - 1)

- ・ 陥没部のシートは外され、砕石による埋立が完了していた。建屋西側
では雨水側溝の設置作業が行われていたほか、北側ではコンクリート
打設に向け型枠が設置されていた。(写真 5)



(写真 4)
サイトバンカ建屋の外観



(写真5-1)
前回の陥没部の状況
(令和3年6月15日撮影)



(写真5-2)
今回の状況
(令和3年9月30日撮影)



(写真5-3)
建屋西側の雨水側溝設置作業の状況



(写真5-4)
建屋北側の型枠設置の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。